

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	小川秀昭	地域企画課	企画振興班	後藤 優美	0186-62-1251	大館・北秋田地域 ご当地ソフトラリー	地域の特産品を使用したソフトクリームの知名度アップを図るとともに、管内外からの誘客を促進する。	265,000	直営	*管内5つの道の駅で、ご当地ソフトのスタンプラリーを実施。 *スタンプ3つ、または5つで抽選に応募可能。	県	地域住民、県内外の観光客	平成25年6月17日	*複数の新聞、テレビ、ラジオ、HP等でイベントが取りあげられ、当地域及びご当地ソフトを広く宣伝できた。 *抽選応募者(計208)の半数が県外または管外であったことから、県内外の誘客促進に繋がった。	北秋田地域には様々な食文化が存在するので、今後も地域の食文化を発信できる取組を継続する。
						平成25年8月1日 ~平成25年9月30日							平成26年10月31日		
総務企画部	小川秀昭	地域企画課	観光推進班	長崎直樹	0186-62-1251	縄文遺跡群世界遺産登録に向けた地域資源啓発事業	北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて、地元での盛り上げ機運の醸成と意識啓発を図るため	477,754	委託、直営	*空港リムジンバスのラッピングバス *啓発ティッシュの作成、配布 *大館能代空港エントランスにつり下げる懸垂幕の製作、設置	県	地域住民	平成25年7月8日	地域の中学生や遺跡ガイドグループの協力により、一緒に大館能代空港でのPR活動を実施するなど、気運の醸成に繋がった。	世界遺産登録に向けて、気運醸成を図るため、引き続き啓発・ピーアールを継続する。
						平成25年4月1日 ~平成26年3月31日							平成26年10月31日		
建設部	石川 浩司	企画調査課	企画監理班	熊谷 聡	0186-62-3111	ウエルカムフラワー事業	地域重点施策推進方針に記載されている協働による美化活動の推進の一環として、各種団体や地域住民、振興局職員が連携して清掃・草刈り・植栽等を行うことにより美化活動への関心及び相互交流を促進する。	93,210	直営	県道大館能代空港西線と鷹巣川井堂川線との交差点緑地帯において植栽等を実施	北秋田市商工会	*県 *JA *商工会 *金融機関 *自治会	平成25年7月8日	県北の玄関口である空港周辺の花壇の手入れ・草刈り・植栽等を行ったことで、北秋田地域のイメージアップにつながった。 また、地元紙に掲載されたことで、地域住民に対し美化活動への関心にも寄与した。	来年度も継続的に花壇の整備が行われるように商工会と打ち合わせをしながら事業を実施したい。
						平成25年10月3日							平成26年10月31日		
総務企画部	小川秀昭	地域企画課	企画振興班	花方 聡	0186-63-1251	今北秋田が熱い！若者たちの挑戦応援フォーラム開催事業	若者の地元定着に向けた気運の情勢を図る。	215,921	直営	フォーラム2回実施。 平成25年12月18日 北秋田市中央公民館 平成26年1月16日 北秋田市交流センター参加者	県	地域住民	平成25年11月25日	地元に残って頑張ろうとする若者を応援する気運の向上につながった。開催後のアンケートでは良かった、役立つとの回答が多かった。	引き続き若者の地域への定着に向けた取組を進める必要がある。
						平成25年12月18日 平成26年1月16日							平成26年10月31日		
鷹巣阿仁福祉環境部	石山 明	健康・予防課	健康・予防班	高柳 聡美	0186-62-1166	みんなで学ぶ感染症予防講座	高齢者介護施設職員への感染症予防の知識の普及により、地域全体の感染症予防に対する意識の向上と、感染症予防・感染拡大防止の徹底を図る。	111,000	直営	(1)研修会の開催(1施設1回) 内容:インフルエンザについて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎について (2)啓発リーフレット作成、研修会での演習に使う物品の購入	県	特別養護老人ホーム職員	平成25年12月2日	参加者へのアンケートでは、実践演習をすることで実際の場面で役立つという声があり、内容は好評であった。感染症について再確認する良い機会になるため、毎年開催してほしいという継続実施の希望も多かった。	集団生活の場での感染症の蔓延予防については地域の感染症蔓延予防につながるため、今後も内容を更新しながら、継続して研修会を開催したい。
						平成25年12月2日~平成26年3月31日							平成26年10月31日		

部名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
大館福祉環境部	相澤 寛	環境指導課	環境・食品衛生班	佐藤大地	0186-52-3953	「手洗い習慣は家庭から」我が家の手洗いマスター」事業	小学生が正しい手洗い習慣を身につけ、家庭で実践するとともに、その取組を広く他校や地域に紹介することにより、学校から家庭へ、さらには家庭から地域への手洗い習慣の定着、衛生意識の向上を図る。	104,925	直営	「学童の手洗い教室」を計3教室(2校3回)実施。 ※講義内容 (1)食中毒と感染症について(講義) (2)汚染と手洗いについて(検査機器等を使用した実習)	県	地域児童	平成25年12月16日	3教室(2校3回)開催したところ、小学校3、4年生合計55名が参加し、積極的に手洗いを学習していたことから、学校や家庭における手洗い意識の浸透が図られた。教室開催後に実施した教職員へのアンケートも好評であり、次年度以降の開催や他の学年を対象とした開催を希望された。	大館保健所は北秋田と鹿角の2地域振興局を所管地域としていることから、鹿角市内の開催についても取組みたい。
						平成26年2月27日									
農林部	高橋 徹	農業振興普及課	産地・普及班	小田島 誠悟	0186-62-1835	えだまめフォーラム開催事業	「JAあきた北農産物流通加工センター」供用開始前に、むき豆やペースト等の地域での活用方法を探るため、フォーラムを開催し、取組を広く紹介する。	196,500	直営	えだまめフォーラム開催	県	JAあきた北、大館商工会、管内市村・JA	平成26年2月24日	・えだまめの市場調査に基づいた加工品の動向について報告があり、えだまめの加工や加工品の利活用に対する意識が高まった。 ・次年度稼働する農産物流通加工センターの利活用について、関係機関・団体の意識の向上が図られた。	・えだまめ一次加工品(剥き豆、ペースト)の地域内での利用促進を図る。 ・地元業者等と連携した加工品開発等により、「えだまめの街大館」を実現し、地域活性化を図る。
						平成26年3月13日									
総務企画部	小川 秀昭	地域企画課	企画振興班	小寺 一康	0186-62-1251	大館・北秋田地域 企業交流会(農&商工交流サロン)	農業者と商工業者との情報交流を通じて、互いの強みを活かした新しいビジネスチャンスへの可能性を探る。	182,690	直営	・農商工連携に係る支援制度及び支援事例の紹介 ・管内企業による事例発表 ・参加者による情報交換	県	農業者及び商工業者	平成26年2月5日	・支援制度等の説明及び管内の事業事例を聞くことを通じて、農商工連携に係る知識を深めることができた。 ・情報交換により、新たな連携の可能性について探ることができた。	実際の連携につながっていき取り組みとなるよう、内容を工夫して、引き続き実施していく必要がある。
						平成26年3月13日									
鷹巣阿仁福祉環境部	石山 明	健康・予防課	健康・予防班	渡辺 剛	0186-62-1166	医療・介護・福祉の連携促進事業	高齢化率が県内で最も高い鷹巣阿仁地域において、高齢者等が安心して住み慣れた地域で生活ができるよう、医療・介護・福祉の連携を強化する。	30,120	直営	医療・介護・福祉の連携について、管内の医療機関・介護保険事業所にアンケートを実施した。 アンケート対象:157 回答:116 回答率:73.9%	県	医療機関、介護保険事業所	平成26年1月14日	医療・介護・福祉の連携について現状の把握と課題の確認をすることができた。	高齢者を地域で支える地域包括ケアシステムの推進に向けて、医療・介護・福祉の連携の更なる強化に取り組む。
						平成26年1月～平成26年3月									